学校番号	T3005

平成31年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校美術1 （日本文教出版）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高い集中力で、授業に臨んでほしい。
美的な活動への真摯な態度と意義を感じてもらいたい。

2　学習の到達目標

美術的な体験と制作。美術を通して、表現することの素晴らしさを感じ、日々の生活に活かすこと

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に興味を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、表現方法を工夫している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	授業態度 出席	授業態度 ワークシート 作品	作品の完成度	授業態度 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5 6	色彩	『色鉛筆による色彩構成』	○	○	○		a:積極的に授業に取り組んでいるか b:ただしい色彩の構成をすることができる c:構成に沿って、正確な着彩をおこなうことができる c:パターンを理解すると共に、応用し発展させることができる	a:出席、授業態度 b:作品 c:作品の完成度
7 9 10 11	切り絵	『オリジナル画による切り絵』	○	○	○	○	a:積極的に取り組み、自分のアイディアを発展させようとしているか b:自分自身のアイディアを発展させ、ふさわしい構成やデザインを選択している c:構成・デザインに従って、性格に切り絵を作成することができる d:他者の作品を鑑賞し、自分自身の創造性を高めている	a:出席、授業態度 b:作品 c:作品の完成度 d:ワークシート
12 1 2 3	彫刻	『彫刻刀による木彫』		○	○	○	b:オリジナルのデザインを工夫し、構成している c:彫刻刀を正しく使い、構成通りに仕上げることができる d:グループで鑑賞会を行い、互いに鑑賞しながら課題を見つけている	b:ワークシート、作品 c:作品の完成度 d:ワークシート

※表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている